



トラクター事故

トラクター事故の3つの特徴

1 走行中の転倒・転落

- 直角カーブ、鋭角カーブ、坂道走行
 - 狭い道幅、草むらで路肩・境界不鮮明
- ⇒ブレーキの連結ロック、スピードを抑える

2 作業機の取替・修理時の事故

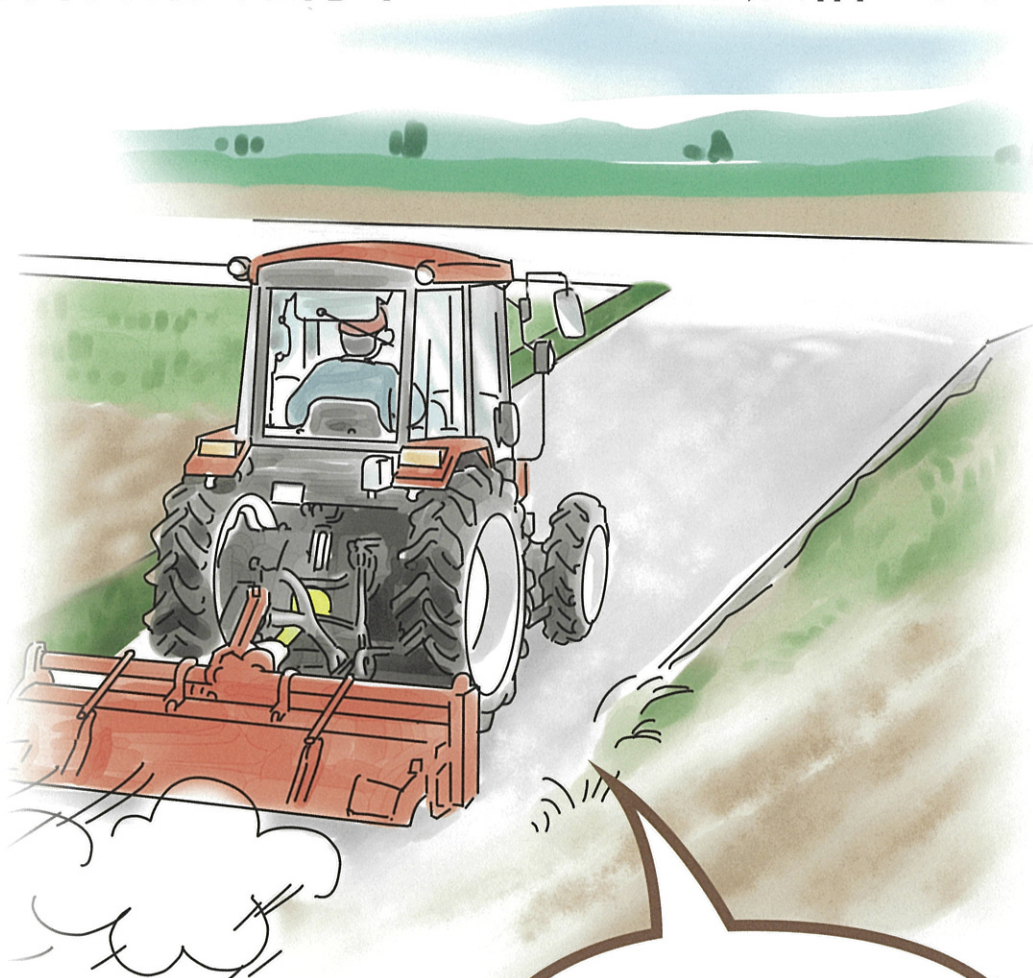
- 間違った手順での事故

3 乗降中の転落

- 大型化により車高が高くなって
- ⇒とくに降車時は後ろ向きに

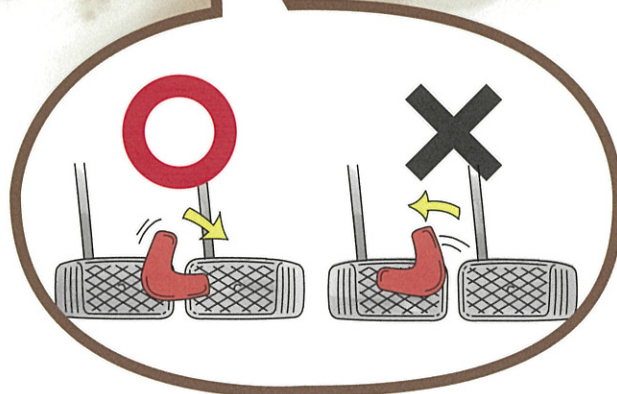
1 走行中の転倒・転落

①昇降路、走行中、ブレーキの連結ロックを!



事例

斜度5°のカーブでブレーキをかけたとき、ブレーキの連結ロックがされておらず、急回転し、崖側に転落、下敷きとなる。



ブレーキの連結ロックのタイミングは、耕起終了後、昇降路の手前で、確実に

② 危険！ 狭い道、坂道、直角カーブ、鋭角カーブ

事例

雨で少し濡れていた狭い坂道を上って行って、タイヤがスリップ。トラクター転落、本人も7m転落。頸椎骨折、肋骨骨折。

スピードの出しすぎ！

草むらや風化で路肩が不鮮明、標識等の設置を
T字路、鋭角カーブは鬼門！

2 作業機の着脱時の事故

事例

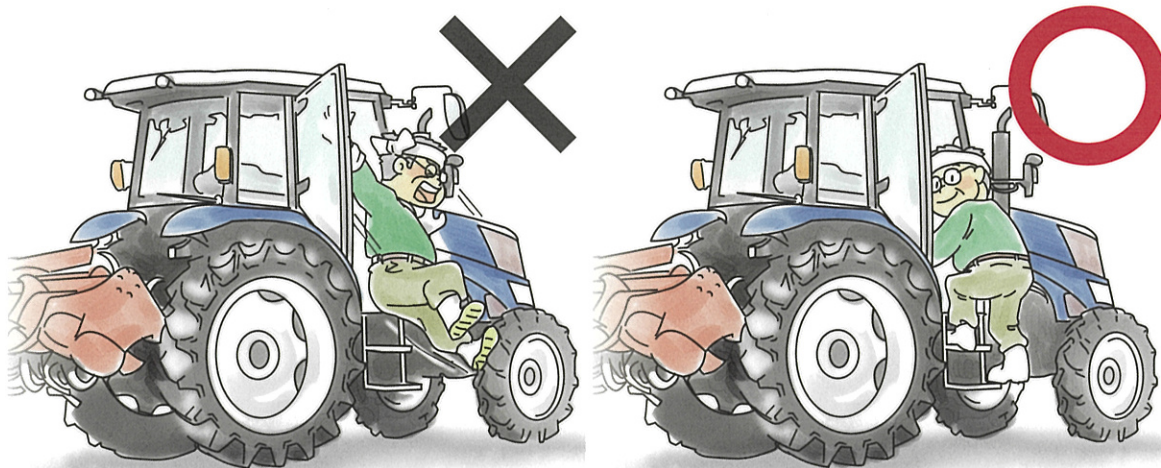
小麦播種機をトラクターに接続し、キャスターを外すとき、本来の手順を知らず、キャスターが倒れ足を直撃、親指骨折、1.5ヵ月休業。

おもーい

手順を学ぶ！

3 車高が高くなり、起こった事故

とくに降車時に注意。乗り降りには後ろ向きに。



事例 前向きに降り、足を滑らせ、凍った地面に手をつけて、手首骨折

その他の事故

① 機体との接触、巻き込まれ(回転を止める)

- 作業機が回転、手を入れて巻き込まれ腕切断
- PTOに衣服が絡まり、あわや足を切断
- 田で足を滑らせ、トラクターに激突、膝靭帯断裂、膝血腫他

② 運転席周りは、クラッチ、レバーが突き出ている引っかけり

- 代掻き中、ロータリー点検後、運転席に戻る際、足を滑らせクラッチが入り転落、そのまま鉄車輪にひかれ、肋骨骨折、靭帯損傷他
- 耕耘中、後ろを振り返った時、クラッチレバーが肋骨に当たり、骨折

③ 公道での事故(低速車マークの設置)

- 夜、トラクターでマニュアルスプレッダーを牽引し走行中、普通車に追突にされ、肋骨・骨盤骨折等
- プッシュトレーラーをトラクターで牽引し(全長14m)、右折時、普通車が追突